Canon

EOS 50D

Pocket Guide

ポケットガイド

このガイドは、基本的な機能設定と、撮影、再生方法を簡単に説明しています。撮影の際に本ガイドを携帯してご活用ください。詳しい説明については、EOS 50D 使用説明書をお読みください。

J 日本語版

CT1-5239-000　PRINTED IN JAPAN

すぐ撮影するには

1 電池(バッテリー)を入れる

2 レンズを取り付ける
EF-Sレンズは白い指標、EF-Sレンズ以外は赤い指標に合わせて取り付けます。

3 レンズのフォーカスモードスイッチを〈AF〉にする

4 カバーを開け、CFカードを入れる

5 電源スイッチを〈ON〉にする

6 モードダイヤルを〈□〉(全自動)にする
撮影に必要な設定がすべて自動設定されます。

7 ピントを合わせる
写したいものにAFフレームを合わせ、軽くシャッターボタンを押して、ピントを合わせます。

8 撮影する
さらにシャッターボタンを押して撮影します。

9 画像を確認する
撮影した画像が液晶モニターに約2秒間表示されます。

- タイトル右の 応用 マークは、応用撮影ゾーン(**P**、**Tv**、**Av**、**M**、**A-DEP**)限定の機能です。
- **撮影可能枚数の目安**

温度	ストロボ撮影なし	50%ストロボ撮影
常温(+23℃)	約800枚	約640枚

画像の再生

準備操作

メニュー機能の設定方法

① 〈MENU〉ボタンを押してメニューを表示します。
② 〈⌂〉を回してタブを選び、〈○〉を回して項目を選びます。
③ 〈SET〉を押すと内容が表示されます。
④ 内容を設定して〈SET〉を押します。

かんたん撮影ゾーン

応用撮影ゾーン

画面はすべて、応用撮影ゾーンで表示される内容です。[撮影/カスタム/★]のタブと▶の項目は、かんたん撮影ゾーンでは表示されません。

メニュー機能一覧

クイック設定画面

- 〈⁘〉をまっすぐに押します。
➡ クイック設定画面が表示されます。

- 〈⁘〉で機能を選び、〈⌂〉または〈○〉を回して設定します。
- かんたん撮影ゾーンでは、ドライブモードの一部と記録画質を選ぶことができます。

記録画質

- [撮影 記録画質]を選びます。

ピクチャースタイル 応用

- 〈⁘〉ボタンを押します。
- 〈⌂〉または〈○〉を回してスタイルを選びます。

INFO. 詳細設定

スタイル	画像特性・内容
スタンダード	色鮮やかで、くっきり
ポートレート	肌がきれいで、ややくっきり
風景	青空や緑の色が鮮やかで、とてもくっきり
モノクロ	白黒画像

- 〈N〉(ニュートラル)と〈F〉(忠実設定)は、カメラ使用説明書を参照してください。

撮影操作

各部名称

- 〈AF・DRIVE〉AFモード選択／ドライブモード選択ボタン
- 〈ISO・ストロボ調光補正〉ISO感度設定／ストロボ調光補正ボタン
- 〈測光・WB〉測光モード選択／ホワイトバランス選択ボタン
- 〈メイン電子ダイヤル〉メイン電子ダイヤル
- モードダイヤル
- シャッターボタン
- 〈ストロボ〉ストロボボタン
- フォーカスモードスイッチ
- 〈AF-ON〉AFスタートボタン
- 〈✱〉AEロックボタン
- 〈AFフレーム選択〉AFフレーム選択ボタン
- 〈マルチコントローラー〉マルチコントローラー
- 〈サブ電子ダイヤル〉サブ電子ダイヤル
- 電源／サブ電子ダイヤルスイッチ
- アクセスランプ

表示パネル

シャッター速度、記録画質、絞り数値、撮影可能枚数、ホワイトバランス、ストロボ調光補正、AFモード、ドライブモード、AEB撮影、電池チェック、測光モード、ISO感度、モノクロ撮影、露出レベル表示

電池チェック：OK ～ NG

ファインダー内表示

AFフレーム、スポット測光範囲、AEロック、合焦マーク、ストロボ充電完了、連続撮影可能枚数、ストロボ調光補正、モノクロ撮影、シャッター速度、ISO感度、絞り数値、露出レベル表示

かんたん撮影ゾーン

撮影に必要な設定がすべて自動設定され、シャッターボタンを押せば、カメラまかせで撮影できます。

- 全自動
- クリエイティブ全自動
- ポートレート
- 風景
- クローズアップ
- スポーツ
- 夜景ポートレート
- ストロボ発光禁止

(〈CA〉のときだけ表示されます)

- 〈マルチコントローラー〉をまっすぐに押したあと、〈マルチコントローラー〉で機能を選びます。
- 〈メイン電子ダイヤル〉または〈サブ電子ダイヤル〉を回して設定します。

内蔵ストロボ撮影

かんたん撮影ゾーン

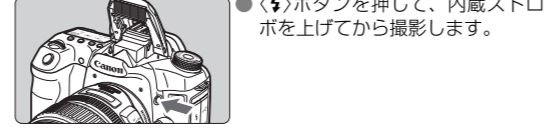
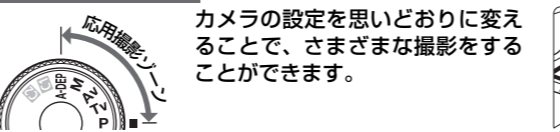
暗いときや日中逆光時に、内蔵ストロボが自動的に上がって発光します(〈風景〉〈スポーツ〉〈ストロボ発光禁止〉を除く)。

応用撮影ゾーン

- 〈ストロボ〉ボタンを押して、内蔵ストロボを上げてから撮影します。

応用撮影ゾーン

※電源スイッチを〈┘〉にしてください。

カメラの設定を思いどおりに変えることで、さまざまな撮影をすることができます。

P：プログラムAE撮影

〈全自動〉と同じように、シャッター速度と絞り数値が自動的に設定されます。

- モードダイヤルを〈**P**〉にします。

Tv：シャッター優先AE

- モードダイヤルを〈**Tv**〉にします。
- 〈メイン電子ダイヤル〉を回し、シャッター速度を設定して、ピントを合わせます。
- ➡ 絞り数値が自動的に決まります。
- 数値が点滅するときは、点滅が止まるまで〈メイン電子ダイヤル〉を回します。

Av：絞り優先AE

- モードダイヤルを〈**Av**〉にします。
- 〈メイン電子ダイヤル〉を回し、絞り数値を設定して、ピントを合わせます。
- ➡ シャッター速度が自動的に決まります。
- 数値が点滅するときは、点滅が止まるまで〈メイン電子ダイヤル〉を回します。

AF：AFモード 応用

- レンズのフォーカスモードスイッチを〈AF〉にします。
- 〈AF・DRIVE〉ボタンを押して、〈メイン電子ダイヤル〉を回します。

ONE SHOT(ワンショットAF)：
止まっている被写体を撮るとき
AI FOCUS(AIフォーカスAF)：
AFモードを自動切り換え
AI SERVO(AIサーボAF)：
動いている被写体を撮るとき

AFフレーム 応用

- 〈AFフレーム選択〉ボタンを押して、ファインダーをのぞきます。

- 〈マルチコントローラー〉を操作すると、押した方向のAFフレームが選択されます。同じ方向に押すと、任意選択と自動選択が交互に切り換わります。
- すべてのAFフレームが点灯すると自動選択になります。
- 〈メイン電子ダイヤル〉〈サブ電子ダイヤル〉を回すと、回した方向に選択AFフレームが移動します。

ISO：ISO感度 応用

- 〈ISO・ストロボ調光補正〉ボタンを押して、〈メイン電子ダイヤル〉を回します。
- ISO100～3200(1/3段ステップ)の範囲で設定できます。
- 「**A**」のときはISO感度が自動設定されます。シャッターボタンを半押しすると、設定されたISO感度が表示されます。

ドライブモード 応用

- 〈AF・DRIVE〉ボタンを押して、〈サブ電子ダイヤル〉を回します。

□ ：**1枚撮影**
□H：**高速連続撮影**
□ ：**低速連続撮影**
セルフタイマー ：**セルフタイマー 10秒***
セルフタイマー2：**セルフタイマー 2秒**

*〈セルフタイマー〉はどの撮影モードでも選択できます。

ライブビュー撮影 応用

- [**ライブビュー機能設定**]を選びます。
- [**ライブビュー撮影**]を[**する**]に設定します。
- 〈ライブビュー〉ボタンを押して、ライブビュー映像を表示します。
- 〈AF-ON〉ボタンを押して、ピントを合わせます。
- シャッターボタンを押して、撮影します。

● **撮影可能枚数の目安(ライブビュー撮影時)**

温度	ストロボ撮影なし	50%ストロボ撮影
常温(+23℃)	約180枚	約170枚

カスタム機能一覧

C.Fn I：露出	
1	露出設定ステップ
2	ISO感度設定ステップ
3	ISO感度拡張
4	ブラケティング自動解除
5	ブラケティング順序
6	セイフティシフト
7	Avモード時のストロボ同調速度

C.Fn II：画像	
1	長秒時露光のノイズ低減
2	高感度撮影時のノイズ低減
3	高輝度側・階調優先
4	オートライティングオプティマイザ

C.Fn III：AF・ドライブ	
1	AF測距不能時のレンズ動作
2	レンズ・AFストップボタンの機能
3	AFフレーム選択方法
4	スーパーインポーズの表示
5	AF補助光の投光
6	ミラーアップ撮影
7	AFマイクロアジャストメント

C.Fn IV：操作・その他	
1	シャッター/AF-ONボタン
2	AF-ON/AEロックボタン入替
3	SETボタンの機能
4	Tv/Av値設定時のダイヤル回転
5	フォーカシングスクリーン
6	オリジナル画像判定用データの付加
7	FUNC.ボタンの機能